

下水道の役割

私たちにとって“水”は、なくてはならない大切なものです。

下水道は、汚れた水をよみがえらせ、美しい水環境を創造します。

肝属川を以前の美しい川にもどし、自然環境を守り、後世に引き継ぐために下水道事業を進め、**みなさんが利用できるようにしましょう。**

川や海がきれいになります。

自然の力だけでは、家庭や工場からの汚水は浄化しきれません。下水道は自然を守っています。

水洗トイレが使えます。

清潔な暮らしに欠かせない、水洗トイレが使えます。

街がきれいになります。

生活排水が側溝や川に流れ込まないので、悪臭や蚊、ハエの発生が少なくなります。

街を浸水から守ります。

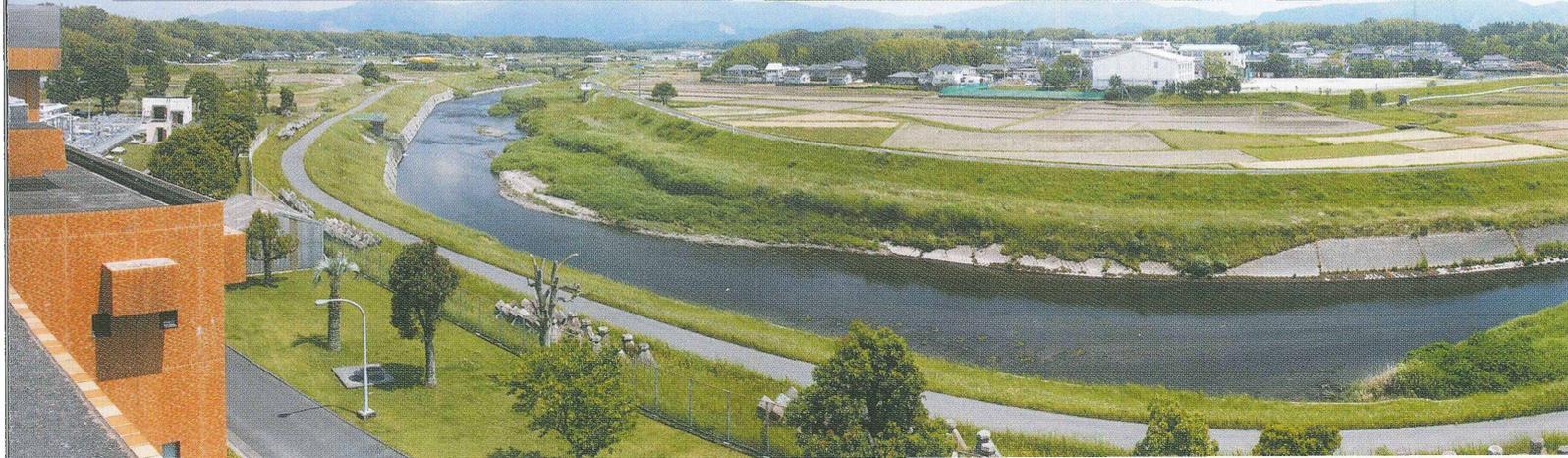
道路や住宅に降った雨を、素早く排水する雨水排水路も整備しています。



下水処理センター

鹿屋市川東町 6943 番地

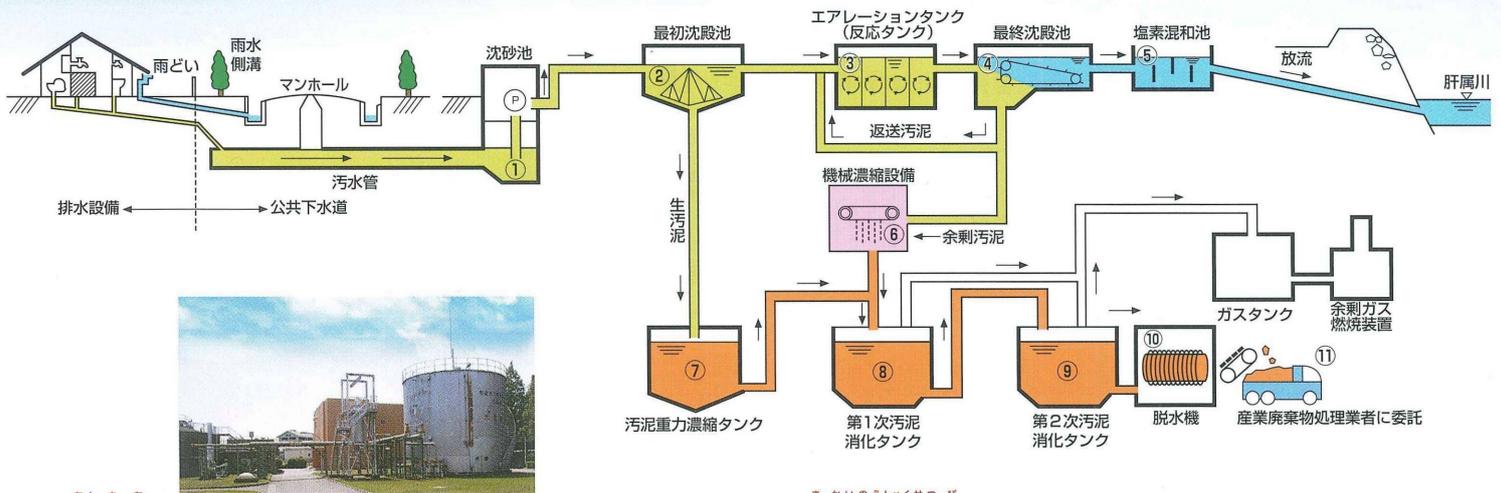
☎ (0994) 40-0729



下水道のしくみ

鹿屋市では、生活排水は污水管、雨水は側溝等で排除する「分流式」を採用しています。汚水は、污水管を通過して下水処理センターに集められ、微生物等を使ってきれいな水にして川へ放流します。雨水は、雨どいや側溝から雨水管きよを通過して川へ流れていきます。

汚水がきれいになるまで（分流式）



①沈砂池

污水管を通過して流れしてきた汚水は、沈砂池でゆるやかに流れて土砂とゴミを取り除き、その汚水をポンプで汲みあげて最初沈殿池に送ります。

②最初沈殿池

この池で、汚水がゆっくり流れる間に汚泥が底に沈みます。この沈んだ汚泥は生汚泥といいます。そして澄んだうわ水はさらにきれいにするためエアレーションタンク（反応タンクともいいます。）に送り、生汚泥は汚泥重力濃縮タンクに送ります。

③エアレーションタンク（反応タンク）

最初沈殿池のうわ水に、好気性微生物を多量に含んだ汚泥（活性汚泥といいます。）を加え、空気を吹き込んでかき混ぜます。汚水中の汚物（有機物）は、微生物の栄養源となって取り除かれ、大量に繁殖した微生物と浮遊性の粒子が粘着し、沈みやすい汚泥となります。

④最終沈殿池

沈殿しやすい状態となった活性汚泥と水とをこの池で分離させます。うわ水は、塩素混和池に送ります。また底に沈んだ活性汚泥は一部エアレーションタンク（反応タンクともいいます。）に送り、余剰汚泥は汚泥重力濃縮タンクに送ります。

⑤塩素混和池

この池で塩素殺菌します。このようにして処理され、きれいになった水は、肝属川に放流されます。

⑥機械濃縮設備

最終沈殿池から引き抜かれた余剰汚泥は、多量の水分を含んでいるので、機械濃縮により水分を減らし、汚泥量を少なくします。

⑦汚泥重力濃縮タンク

最初沈殿池から引き抜かれた生汚泥と最終沈殿池から送られた余剰汚泥は、多量の水分を含んでいるので、約1日間静止し、水分を減らして汚泥量を少なくします。

⑧⑨汚泥消化タンク

汚泥重力濃縮タンクで濃縮された汚泥は、このタンクに送り込まれ、安全無害な物にし、またさらに水分を減らして、汚泥量を少なくします。

⑩脱水機

消化された汚泥を脱水し、取り扱いよくします。

⑪搬出

脱水された汚泥（脱水ケーキといいます。）は、産業廃棄物処理業者により搬出されます。

